

京都府知事と京都府商工会議所連合会との懇談会

(令和3年11月29日開催)

(宮津商工会議所の要望事項)

1 天橋立の世界遺産登録について (重点要望項目)

天橋立の世界遺産登録に向けましては、平成19年9月に京都府・宮津市・伊根町・与謝野町の連名で、暫定リスト登録を文化庁に申請されましたが、残念ながらリストに載ることが出来ませんでした。

それ以降、京都府におかれましては、暫定リスト登録への申請に向けて、天橋立の顕著な普遍的価値(OUV)の証明に向けた調査研究を継続実施いただいております。深く感謝申し上げます。

こうした中、本年3月の文化庁文化審議会において「我が国における世界文化遺産の今後のあり方(第一次答申)」が取りまとめられ、「暫定一覧表」の見直しの具体的手順を定めることとされました。

当会議所では、こうした動きにより天橋立が国内暫定リストに登録されることを期待しているところであります。

つきましては、天橋立の国内暫定リスト登録に向けまして、地域としての気運醸成をはじめ天橋立の保護保全の取組を進めてまいりますので、引き続き京都府のご支援ご指導を賜りますとともに、国(文化庁)への働きかけをお願いします。

2 「丹後歴史文化博物館」(仮称)の整備促進について (重点要望項目)

京都府立丹後郷土資料館のリニューアルにつきましては、平成28年度に丹後歴史文化博物館(仮称)基本計画が策定されましたが、事業が進捗していない状況でありました。

しかしながら、現在、京都府におかれましては、当該資料館の再整備について検討を進めていただいておりますと伺っております。

当会議所では、当該資料館の整備により「海の京都エリア」の更なる文化振興や観光振興が図れるものと期待しているところであり、当該資料館を核としたまちづくりを進めてまいります。

つきましては、当該資料館に博物館本来の役割に加え「海の京都観光圏」の中核拠点施設として、早期の整備と機能拡充をお願いします。

併せて、再整備された資料館では、世界遺産登録を目指す「天橋立」の情報発信拠点としての機能を付加していただきますようお願いいたします。

3 宮津エネルギー研究所の再開発の推進について

宮津エネルギー研究所の再稼働につきましては、京都府のご支援を頂きながら、宮津市と私ども地元関係団体が一体となって要望活動を続けてまいりましたが、平成30年10月に関西電力株式会社からの申し出を受けて、再稼働だけに拘らず、地域経済の振興に資する事業の検討を行うこととなりました。

現時点では、関西電力株式会社から再開発構想の具体的な提案がなされていないとお聞きしておりますが、当会議所では、宮津エネルギー研究所の再開発が宮津市ひいては府北部の地域経済の振興に資する事業となるよう大いに期待しているところであります。

つきましては、再開発事業の前向きかつ、具体化に向けまして、引き続き京都府のご支援を賜りますとともに、関西電力株式会社への働きかけをお願いします。

4 京都府の海洋センター及び栽培漁業センターの整備について

京都府農林水産技術センター海洋センターでは、丹後地域の特産品となっている丹後とり貝やアカモク養殖のための種苗の生産及びアワビやナマコの資源管理など、漁業に関する技術開発を行っていただいております。

また、海洋センターに隣接している栽培漁業センターは、アワビ、サザエ、マダイの放流用の種苗を生産していただいております。

当会議所では、こうした技術開発や種苗生産は、丹後地域の水産業のみならず観光業なども含め地域産業に大きく寄与しており、地域にとって不可欠な施設であると考えております。

しかしながら、当会議所で当該施設を視察しましたが開所から45年が経過しており、建物のみならず、海面いけすや水槽などの基幹施設は老朽化が著しい状況であります。

つきましては、とり貝などの養殖用種苗の供給や水産に関する試験研究を将来にわたり安定的に継続できるよう、海洋センター及び栽培漁業センターの整備をお願いします。

さらに、隣接する宮津エネルギー研究所内の旧水産研究施設では、リージョナルフィッシュ株式会社という京都大学発のベンチャー企業がゲノム編集による魚の品種開発を行っており、海洋センターとの連携をお願いします。